



岩国市長

福田良秀

市民一人ひとりが地域社会の一員であることを自覚し

ま ち
住み良い岩国市にしていくための協働のまちづくり

本市では、平成 26 年 12 月に策定しました第 2 次岩国市総合計画において、「支えあいと協働でつくる絆のあるまち」を基本目標の一つに掲げ、市民の主体的な取組を支援するとともに、一人ひとりの人権が尊重され、共に生き、支えあう助けあいのまちづくりを推進することとしております。

本計画は、このような基本目標の下、支えあいと絆のあるまちについての方針を示したものであります。

従来、公共的なことは全て行政が行うと考えられていました。しかし、近年、少子高齢化や人口減少が進み、想定を超える災害も各地で発生している中、防犯や交通安全など、市民の要請も多種多様となっており、また、厳しい行財政運営の中、行政だけでは、市民の要請に応えることは困難な時代になっています。

こうした市民要請に柔軟に対応するためには、多様な主体の特性をいかした協働のまちづくりを進めていく必要があります。協働で取り組むことによって、市民の皆様が納得していただける成果があがるものと期待しております。

本計画の策定を契機に、市民一人ひとりが地域社会の一員であることを自覚し、住み良いまちにしていくための協働のまちづくりに市民の皆様と一緒に取り組んでまいりますので、一層の御参画と御協力をお願いいたします。

最後になりましたが、本計画の策定に当たり、岩国市協働のまちづくり推進委員会委員をはじめパブリックコメントなどを通じて様々な意見をいただいた皆様に心から感謝申し上げます。

平成 28 年 9 月